

.....編集後記.....

◆北海道の地質はサハリンに続く南北系の古い構造とそれに斜交する千島弧の性質が重複して出来上がっており、その事は島の形によく表れております。ですから近隣のロシア側を地質調査することは北海道の地質の理解に非常に重要なことですが、政治的理由で交流は長い間中断されてきました。最近は何ソ連の崩壊と共にサハリンを中心とする地質学術交流が北海道大学関係者によって開始され、その成果も学術誌に公表されるようになりました。

◆本年9月23日-25日には北海道大学において20年ぶりに札幌における地質学会年会が開催されますので、この機会に北海道からサハリン、千島列島にかけての研究の現状を2回に分けて紹介する“北方域特集”を企画してみました。今回はその第1号です。第2号は鉱物資源関係の投稿が中心です。ご期待ください。

(地質ニュース編集委員会顧問 石原舜三
副委員長 佐藤興平)

今秋の札幌、北海道大学における国際集会

1994年9月20日(水)—22日(木)

IGCP-283 and IGCP-321: Geodynamic evolution of the Paleasian Ocean and pre-Jurassic Gondwana margin in eastern Asia: From Paleasian Ocean to Paleopacific Ocean(22日は巡検)。

問合せ先: 北海道大学 渡辺暉夫(Fax: 011-746-0394)

1994年9月23日(休)—28日(日): 日本地質学会第101会年会

23日: 特別講演会・総合討論会(ロシアからの2招待講演あり)

24—25日: 一般講演会

26日(月)—28日(水): 巡検

問合せ先: 日本地質学会

1994年10月4日(火)—5日(水): The Sapporo Internation Conference on “Mineral Resources of the NW Pacific Rim”(10月7日—9日は巡検)

問合せ先: 北海道大学 石原舜三(Fax: 011-746-0394)

地質ニュース編集委員会

委員長: 小玉喜三郎

副委員長: 佐藤興平

幹事: 宮崎光旗・奥村公男・石井武政

委員: 今井登・岡村行信・杉原光彦・内田利弘・

野田徹郎・吉井守正・豊遙秋・佐藤岱生

顧問: 林暉・石原舜三・大嶋和雄・高橋博

事務局: 総務部業務課広報係(畠山浩之・清水真寿美)

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3533

地質ニュース 第478号 1994年6月号
定価 ¥ 770 千実費

1994年6月1日 発行

編集

発行人

発行所

工業技術院地質調査所

林久雄

株式会社実業公報社

東京都千代田区九段北1の7の8

〒102

Tel. (03)3265-0951 (代表)

振替口座 東京 00110-6-32466

麹町局私書箱第21号

小宮山印刷工業株式会社

印刷

©1994 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ